

スジ通らぬ議員報酬引下げ否決

**税金の使い方と議員の
ありかたが問われています**

3月議会では平成19年度の予算とともに、町長・議員などの特別職の報酬等審議会の答申を受け「削減案」が提案。19日、町長・教育長等の給与削減案は賛成多数で可決。しかし、議員の報酬削減には西澤議員と北川孫之丞議員が立ち、大町議員が賛成。田中議員と藤堂議員が反対討論。

本会議に先立ち、議案が付託された総務文教常任委員会（3月9日）では多くの議員が議員報酬削減反対の意見（別掲）を述べました。それぞれ「議員の論議が必要」「答申は謙虚に」「定数削減では痛みはない」などと述べながら、今年4月からの削減に背を向けた結果となりました。

「財政難」の理由により、各種住民サービスは縮小の中、住民にかかわる切り下げは押しつけながら議員報酬はそのままでは「スジが通らない」との批判が大きくなりそうです。

本会議での討論概要を紹介します。

田中議員は「経過があるためスツと飲むわけにはいかない。議員発議で何らか見直し、相談すること」などと理由を述べ反対。藤堂議員も「議員活動に支障をきたす」などの理由を述べ反対。

西澤議員は、報酬審議会の論議・答申を尊重し、町長等の引下げ幅は少ないが一步前進。議員も経費削減に協力することが必要。議員定数の削減は民意切り捨てであり、4月から効果はなく、他の経費削減と矛盾している、などと賛成討論。

総務文教常任委員会審議（3月9日）の 討論より（要旨・抜粋）

田中議員：生活給ではない、活動給である。リーダーシップを発揮することが大切。一般社員の1.5倍が必要との例もある。修正して見直すことで反対。

北川豊昭議員：報酬審議会の答申は謙虚に受け止めねばならない。昨年、定数削減を決め、議員も来年2月から経費削減に協力するメッセージを出した。農業委員は一分野、議員は町全体のためがんばっている。もう一度審議する（必要有り）、反対。

奥山議員：議員の報酬は高いとっていない。今期経費削減の意味で（昨年）報酬削減の動議を出した。来年の2月まで報酬削減しないことで反対。

山田議員：同じように痛みを感じている。次期からの定数削減では4月1日から議員に痛みはない。しかし、議員が議員の報酬を論議していいのか。諮問がそれなりに評価されていることを受け止め、委員会で決めるのはどうかと思う（反対）。

議員報酬引下げ賛成 = 西澤・北川孫之丞・大町議員

職名	改定案月額	現行	削減額	可決・否決
町長	660,000	710,000	50,000	可決
副町長	558,000	600,000	42,000	
教育長	530,000	570,000	40,000	
議長	265,000	285,000	20,000	否決
副議長	190,000	205,000	15,000	
委員長	175,000	185,000	10,000	
議員	170,000	180,000	10,000	

特別職報酬等削減案

甲良民報

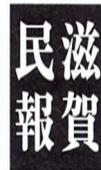
2007年4月29日 354号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在士463
Tel. Fax 38-4949

Eメール info@jcp-nobuaki.com
のぶあきホームページ
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

だれにも
遠慮せず
真実を伝えます



日刊/月2,900円
日曜版/月800円



週刊
月350円